

(7) 観光・交流

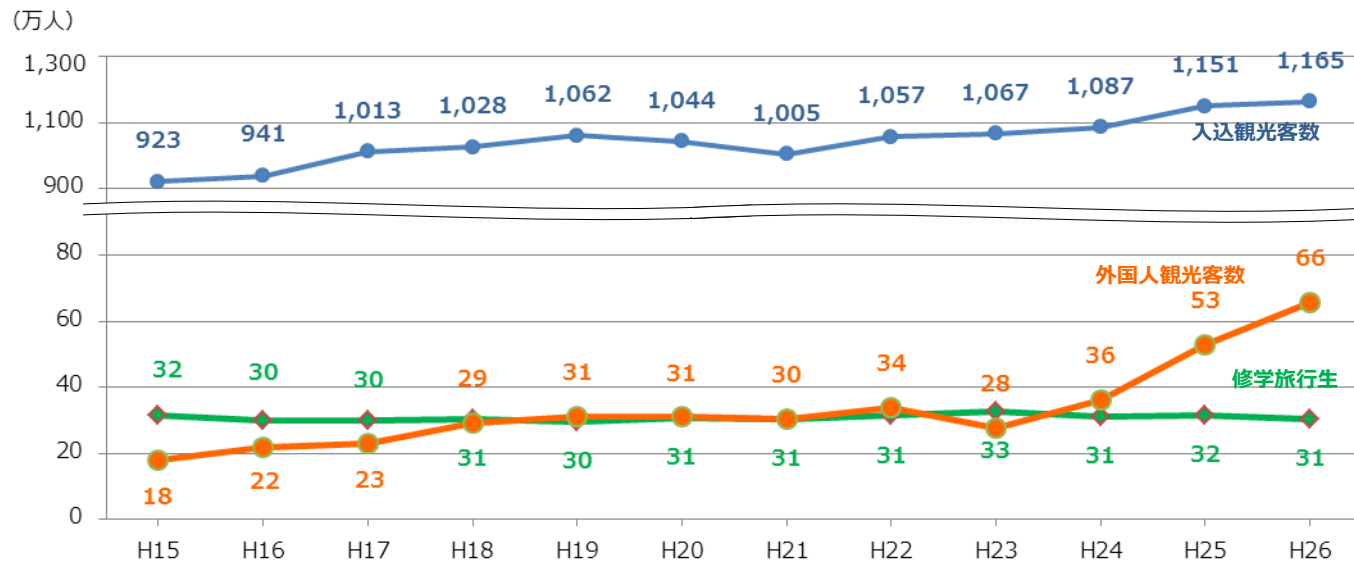
現状分析の視点
(想定する課題)

○観光客は増えているが、滞在時間は短いのではないかな。

現状

- 観光客数及び宿泊率が増加している。
- 外国人に人気の観光スポットがあり、欧米豪からの旅行者を中心とした外国人観光客が増加している。
- 観光資源は数多くあるが、回遊されていない。

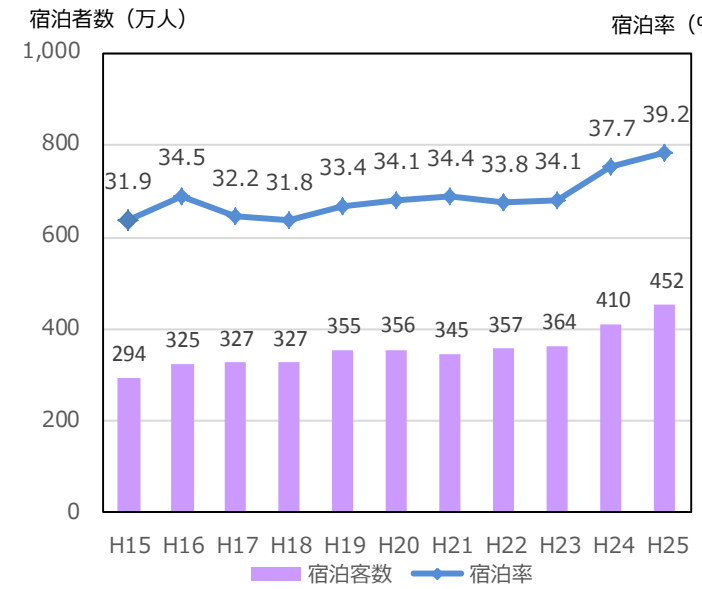
ア 広島市の年間入込観光客数の推移



(資料：広島市観光概況により作成)

- ・広島市の入込観光客数は、増加傾向にあり、平成 23 年から 4 年連続して過去最高を更新している。
- ・特に外国人観光客数の増加が著しく、平成 21 年と平成 26 年を比較すると 2 倍以上増加している。

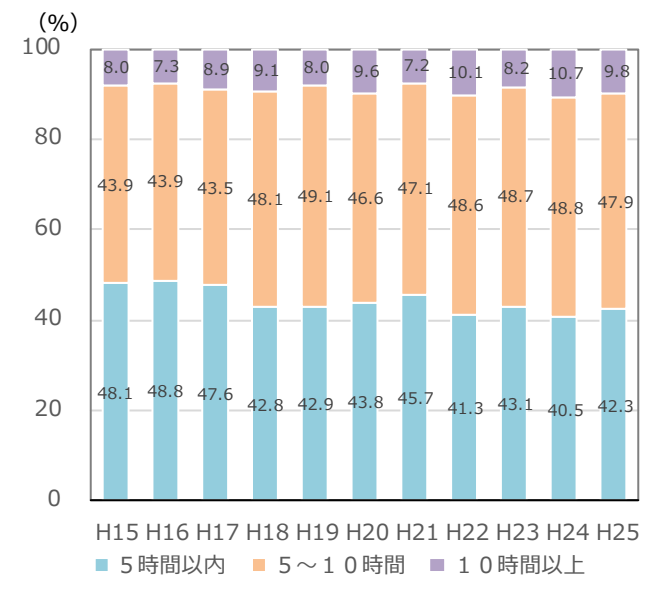
エ 入込観光客の宿泊数と宿泊率の推移



(資料：広島市観光概況により作成)

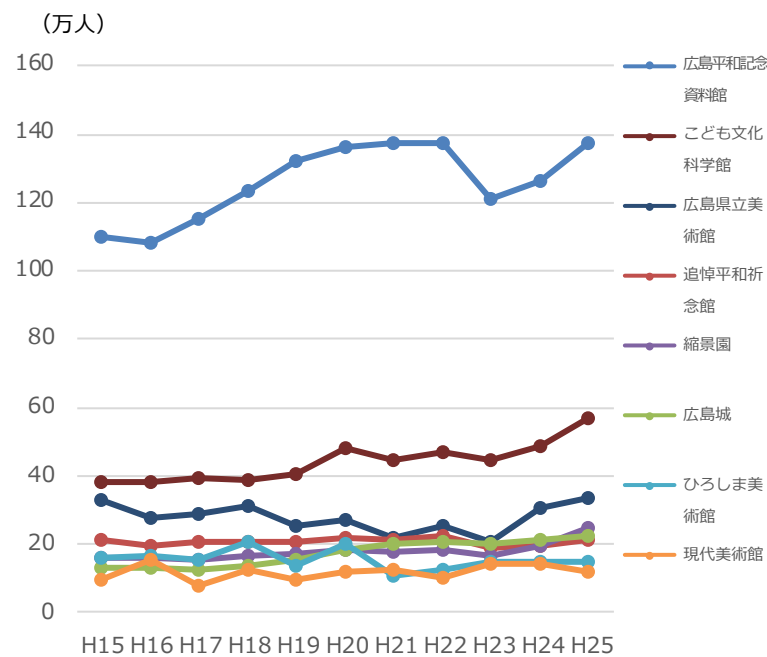
- ・宿泊客数、宿泊率とも増加傾向にある。
- ・日帰り観光客は、滞在時間が 5 時間以内の観光客が 4 割程度を占めている。

オ 日帰り観光客の滞在時間別割合の推移



(資料：広島市観光概況により作成)

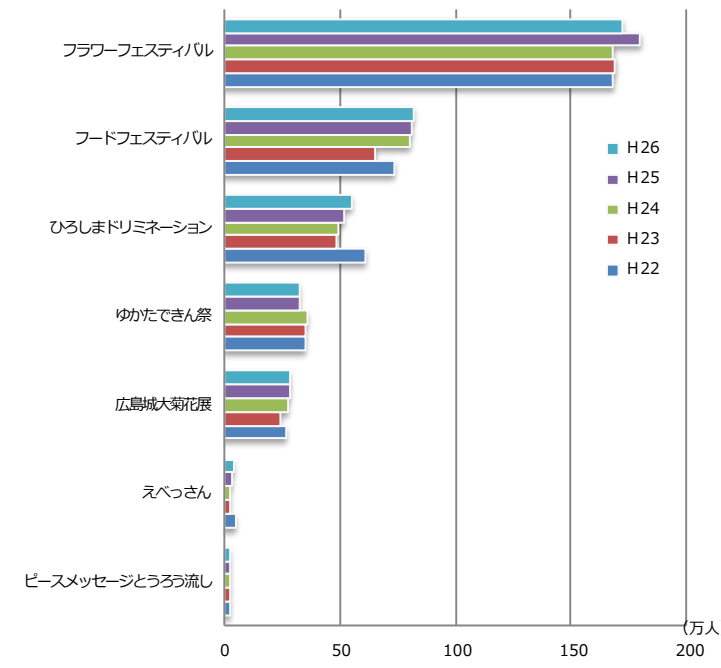
イ 主要な観光施設における来場者数の推移



(資料：広島市観光概況により作成)

- ・主要な観光施設では平和記念資料館を訪れる人が最も多く、唯一 100 万人を超えている。

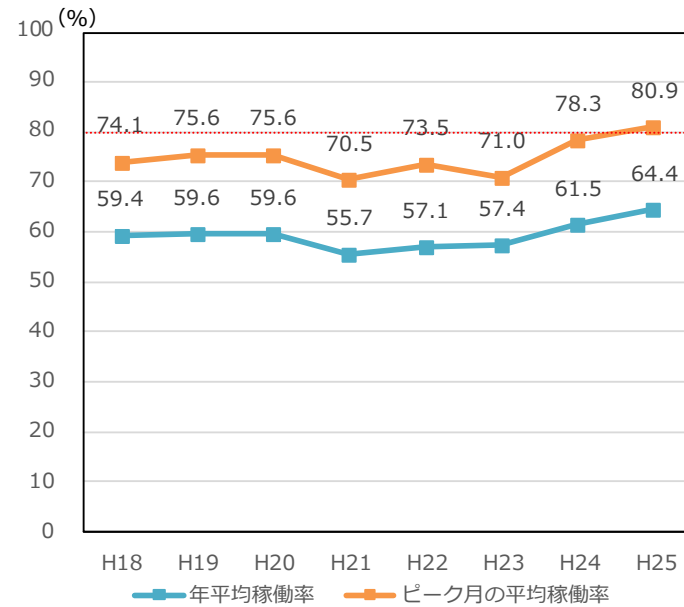
ウ 主要イベントにおける来場者数の推移



(資料：広島市観光概況により作成)

- ・主要イベントでは、フラワーフェスティバルの来場者が一番多く、毎年 160 万人を超える来場者がある。

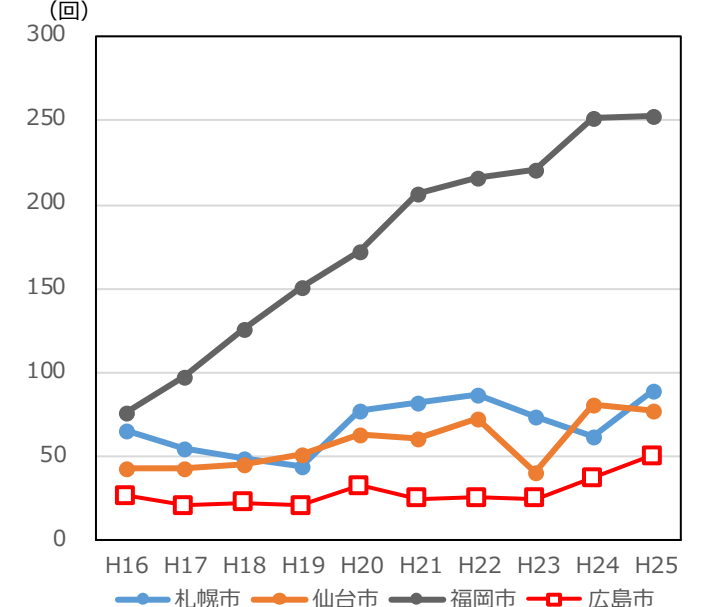
カ 広島市内の宿泊施設の稼働率の推移



(資料：広島市観光概況により作成)

- ・広島市内の宿泊施設の稼働率（定員数に対する宿泊客数）は、近年上昇傾向にある。
- ・宿泊率は、一般的に 80% を超えると予約がとりにくくなると言われているが、平成 25 年度は、ピーク月の平均稼働率が 80% を超えていた。

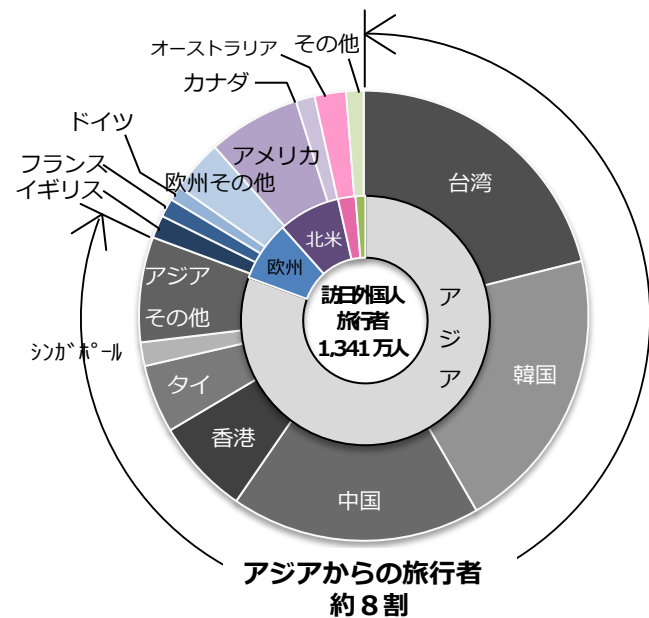
キ 国際会議開催件数の推移



(資料：日本政府観光局 (JNTO) 国際会議統計)

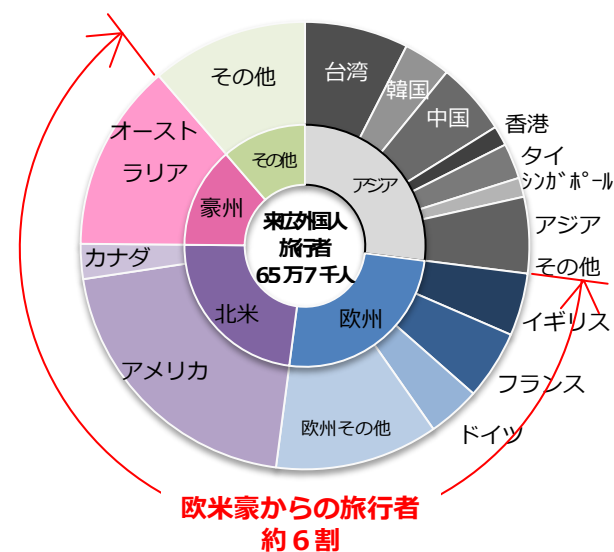
- ・広島市の国際会議の開催件数は増えているものの、平成 25 年度は約 50 件と、福岡市の約 1/5 である。

ク 外国人旅行者の国別の割合（全国）



（資料：日本政府観光局（JINTO）統計データにより作成）

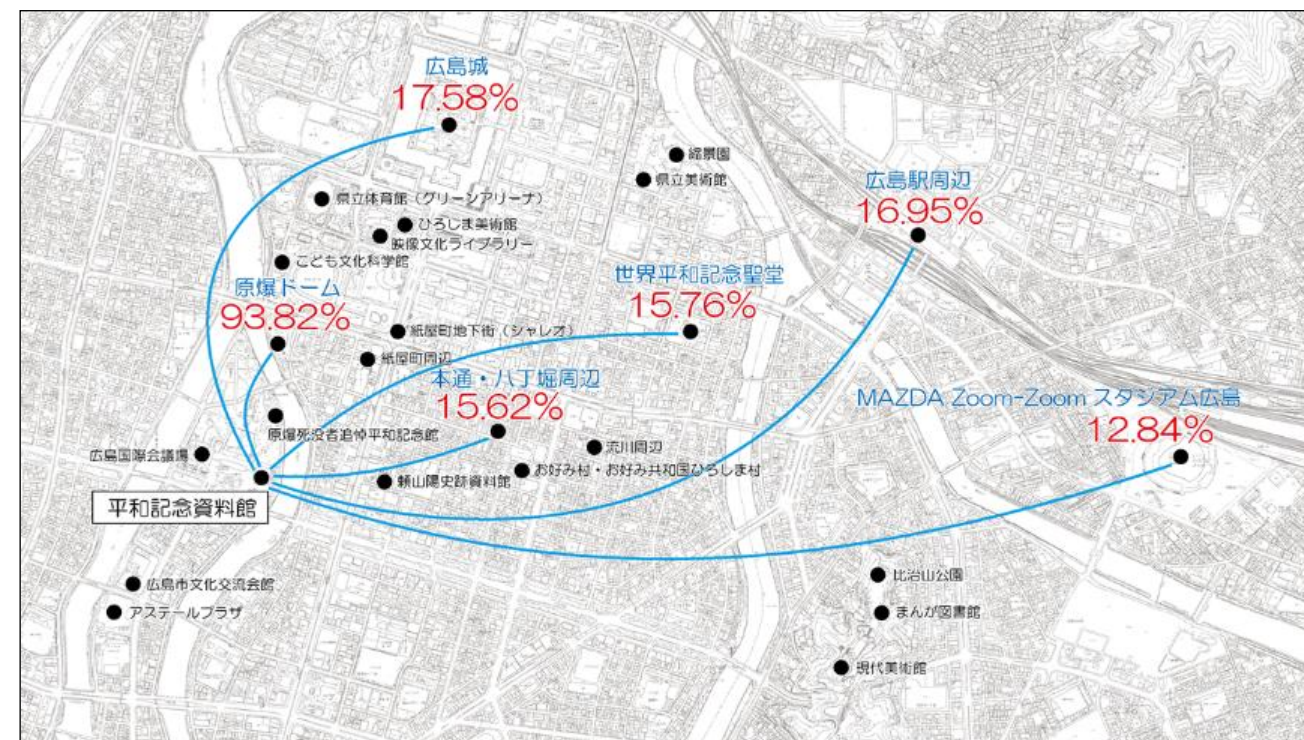
ケ 外国人旅行者の国別の割合（広島市）



（資料：広島市観光概況により作成）
国籍不明者（32,000人）はその他に含んでいる

・日本全体では、台湾、韓国、中国などアジアからの訪日旅行者が約8割を占めているが、広島を訪れる外国人旅行者は北米、欧州、豪州の旅行者が約6割を占めており、アジアからの旅行者は約3割となっている。

サ 平和記念資料館来館者の市内立ち寄り先



（資料：平和記念資料館における平成26年度来訪者アンケート調査により作成）

・平和記念資料館を訪れた人のほとんどが原爆ドームを訪れている一方、その他の施設はあまり訪れていない。

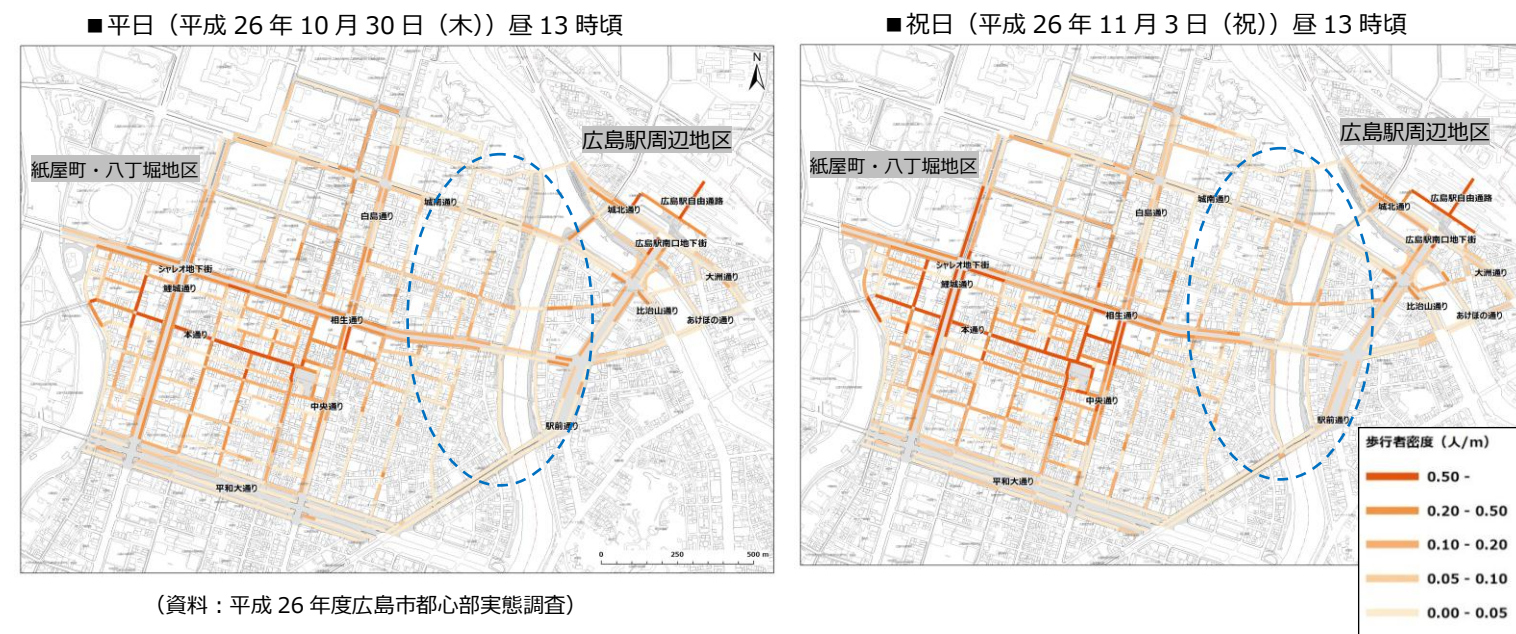
コ 外国人に人気の日本の観光スポット

	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)	平成27年 (2015年)
第1位	平和記念資料館	平和記念資料館	伏見稲荷神社	伏見稲荷神社
第2位	箱根彫刻の森美術館	伏見稲荷神社	平和記念資料館	平和記念資料館
第3位	伏見稲荷神社	東大寺	厳島神社	厳島神社
第4位	厳島神社	厳島神社	金閣寺	東大寺
第5位	地獄谷野猿公園	金閣寺	東大寺	禅林寺 永観堂
第6位	兼六園	清水寺	高野山奥之院	地獄谷野猿公園
第7位	二セコスキー場	地獄谷野猿公園	清水寺	高野山 奥之院
第8位	金閣寺	新宿御苑	新宿御苑	サムライ剣舞シアター
第9位	東大寺	新勝寺	箱根彫刻の森美術館	沖縄美ら海水族館
第10位	清水寺	築地場外市場	新勝寺	箱根彫刻の森美術館

（資料：旅行サイト「トリップアドバイザー」掲載情報により作成）

・世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」の「外国人に人気の日本の観光スポット」において、平和記念資料館及び厳島神社は常に高い順位に位置している。

シ 都心における歩行者密度の状況



（資料：平成26年度広島市都心部実態調査）

・平日、休日ともに、紙屋町・八丁堀地区と広島駅周辺地区の間は歩行者密度が低い。